

技術士 1 次試験に合格して



山田 雄一
(やまだ ゆういち)

勤務先

地崎道路株式会社

工務部 ICT 推進課

〒060-0063 札幌市中央区南 3 条西 10 丁目 1001 番地 5

TEL 011-231-2701 FAX 011-231-2704

E-mail yamada0570@chizakiroad.co.jp

■ 専門：建設部門

自己紹介

私は親戚の影響で手に職を付ければ安泰という言葉を感じ工業高校、工業大学へと進み土木の専門分野を学びました。

卒業後は地崎道路株式会社へ入社。その後 23 年間は現場監督として、空港施設や自衛隊施設、高速道路建設工事などの巨大インフラ施設や店舗や民家の駐車場舗装など様々な現場を担当してきました。

現場監督として務めるには施工管理系の資格取得が必須で参考書や講習会での勉強、先輩社員のアドバイスを聞きながら資格取得を目指しました。

施工管理系の資格は国家資格である土木・建築系や造園・管工事系のほか、舗装系や空港・港湾系の民間資格と様々なものがあり、工作上必要なものは取得してきました。

受験のきっかけ

入社以来、現場監督として勤務していましたが、2019 年より ICT 推進課を兼務することになり主に ICT 施工に関する業務や現場支援の業務をしています。また、地崎道路では産学共同研究を行っており、担当者として研究活動を通じ多くの研究者の方々とお会いし、意見交換の機会を得ることができました。その結果、社会実装など研究成果に繋げることができたことは私自身の知識の習得となり大きな刺激を受けました。

そしてお会いした多くの方々から技術士の有資格者であり言葉の重みや影響力、又交わす名刺の中に技術士と書いているだけで信頼関係を早期に築くことができるのを肌で感じ、私も同じ仲間になりたいと感じ 46 歳にして技術士取得を目指すことを決意しました。

受験体験

私の場合は恐らく資格取得に関して他の方々よりも恵まれた環境にあったと思います。技術士取得に際しては会社全体でバックアップしていただきました。共に技術士資格取得を目指す社員を募り、技術士資格取得の講座を社内で開催してくれました。

講座は一人で勉強するのとは違いモチベーションの確保、過去の問題を各自に割当て解答し皆の前で発表するなどの講座を月 2、3 回程度行いました。仲間同士の勉強は学生時代を思い出し、一次試験が終わった後は学生当時の試験後の解放感と達成感を感じ、清々しい気分になりました。

もちろん社内講座の他に、一次試験の 3ヶ月ほど前から、昼食を簡単に済ませ昼休み 50 分程度、1 時間早起きをして過去の問題を繰り返し解き、日課となるよう継続的に行いました。とにかく 30 分でも 1 時間でもいいので日常的に勉強することが大切であると思われま

今後の目標

技術士の方々との交流や一次試験の勉強を通じて物事の考え方や見方そして捉え方が時代とともに変化の中で技術者としての倫理観を意識するようになり、自分としても倫理感の変化を強く感じています。

社内の技術士取得講座は今年度も引き続き開催されることが決まり、参加者数も昨年より増え技術士取得の機運が高まっていますが、難関である二次試験はそう簡単に合格できないのは重々わかっています。同じ目的を持つ仲間と共に自己研鑽に努め、二次試験の勉強は自分を啓発・成長させる手段と考えて努めていきます。